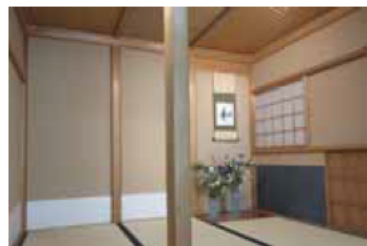


1. 2025年大阪・関西万博に向けた農林水産・食品関連の取組方針

- 輸出拡大やインバウンド需要の拡大に向けて、和食や食文化、農泊体験など我が国農林水産・食品産業の有する魅力を世界に向けて発信する。
- 農林水産・食品分野におけるSDGsへの対応や最先端のデジタル技術の活用をはじめとした、「みどりの食料システム戦略」に沿った未来の持続可能型農林水産業の姿を実証・展示する。

(1) 輸出拡大に向けた我が国農林水産・食品産業の有する魅力の発信

- 「農林水産物・食品輸出立国」として更なる輸出拡大を進めていくため、会場内外において日本の食文化等に関する展示・イベント等を実施。
- 国内外にカーボンニュートラルへの貢献を始めとする木材利用の意義を示すため、会場内外において日本の木の文化やCLTなどの木造建築技術に関する展示・イベント等を実施。



日本の食文化や木の文化等の発信

(2) 未来の持続可能型農林水産業の実現に向けた実証・展示

- 大阪・関西万博の開催を契機として、「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、スマート農林水産技術の開発や実証を更に進め、会場での展示やモデル地区での現場実装を通じて世界に発信。



完全無人
電動トラクタ



自動伐倒作業車



自動給餌器 ※1

2. 主な取組事項案

(1) 輸出拡大に向けた我が国農林水産・食品産業の有する魅力の発信

① 日本食文化・農泊体験の発信

- 会場内外での日本食の体験、VR等を活用したバーチャルトリップ、万博近郊等の農山漁村におけるリアル農泊体験などを通じて、多様な地域の食やそれを支える農林水産業・伝統文化を発信。



リアルな食文化を体験



農泊の推進

② 会場内外における国産木材製品・利用技術の情報発信

- 会場内外の多様な木の文化が体現されている建築物やそれを支える技術、木材製品やサービスに触れる機会を創出し、日本の木の文化を発信。

③ 食品ロス削減に向けた飲食物持ち帰り・フードシェアリングの徹底等の運動推進

- 飲食店における食品ロス削減キャンペーンの展開やドギーバッグによる食べ残しの持ち帰り促進。
- 廃棄される恐れのある商品を抱える飲食店と消費者とをアプリでマッチングするなど、未利用食品を活用する「フードシェアリング」の運動を展開。



食関連イベントとの連携



ドギーバッグによる食べ残しの持ち帰り

(2) 未来の持続可能型農林水産業の実現に向けた実証・展示

① 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた持続可能型農業の実証モデル構築

- 生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」の目指す姿を具体化した実証モデル地区を構築し、会場におけるリモート配信や現地ツアー等を通じて未来の農業・農村の姿を発信。



自動収穫機

② スマート×グリーン技術の実証

- 農林水産・食品分野で実装が期待される先端技術の実証・展示を通じて世界に日本の技術力を発信。



3Dフードプリンタ
※1

③ 月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発

- 月や火星での長期滞在を可能とし、地上の課題解決にも貢献するQOLを重視した高度資源循環型食料供給システムの構築に向けた研究開発の取組状況・成果を発信。



月面における食料生産のイメージ